

長岡SNSセーフティープログラム啓発活動プログラム(仮称)

子どもに対するプログラム

保護者に対するプログラム

中学生

小学生

幼児期

乳児期

★:新規プログラム

I 小中連携事業
 <学校教育課> 「いじめ見逃しゼロスクール集会」や連携活動の中に、情報モラルに関する内容を盛り込んだ活動を各中学校区で工夫して行う。

★H 教育用PCへモラルメッセージ配信
 <学校教育課・教育総務課> 教育用パソコン起動時に情報モラルに関するメッセージを配信し注意喚起する。標語コンクール(市P連実施)入賞作品を月毎に配信する。

★G 授業(学活・道徳等)
 <学校教育課> 市が導入している「情報モラルNavi」等を活用した情報モラル授業を各校で指導する。(各学年1時間実施)

F 学校主催の講演会
 <学校教育課> 「いじめ見逃しゼロスクール集会」や地域連携フォーラム以外の場面で、情報モラルに関する講演会を実施する。

E 中学校入学説明会
 <学校教育課> 小学6年生の児童とその保護者に対してネットの危険性やトラブル防止策について講話を行うもの。

D 小中連携事業
 <学校教育課> 「いじめ見逃しゼロスクール集会」や連携活動の中に、情報モラルに関する内容を盛り込んだ活動を各中学校区で工夫して行う。

★C 教育用PCへモラルメッセージ配信
 <学校教育課・教育総務課> 教育用パソコン起動時に情報モラルに関するメッセージを配信し注意喚起する。標語コンクール(市P連実施)入賞作品を月毎に配信する。

★B 授業(学活・道徳等)
 <学校教育課> 市が導入している「情報モラルNavi」等を活用した情報モラル授業を各校で指導する。(各学年1時間実施)

A 学校主催の講演会
 <学校教育課> 「いじめ見逃しゼロスクール集会」や地域連携フォーラム以外の場面で、情報モラルに関する講演会を実施する。

子どもはSNSの操作に詳しいものの危険に対処する力は低いため、フィルタリングによる機能制限や家庭ルールなどによって被害から守る必要があります。しかし、いつまでも制限やルールによって触れる情報を減らしては、情報化社会で生き抜くために必要な知識やモラルが身に付かず、危機回避能力も育ちません。したがって、成長するにしたがって、学校での情報モラル教育や日々の生活での経験の積み重ねにより、危険に対応する能力を育てながら、制限やルールを減らしていく必要があります。

子どもに身に付けさせたい力(知識・モラル・危険回避能力)

危険回避能力

保護者の役割(フィルタリング・機能制限・家庭のルール等)

★:新規プログラム

⇒全保護者が対象

⑪ 親も育つ子育てセミナー(児童・思春期コース)
 <中央公民館> 「知っておきたい!子どもとインターネット~子どもを取り巻くネット・スマホ利用の現状~」(講師:一般財団法人インターネット協会認定インターネット利用アドバイザー・大久保真紀さん)

★⑩ 保護者向けの啓発
 <学校教育課> 文部科学省情報モラル教育推進事業の指導の手引を活用した、保護者向けの啓発を自校の実態に応じて内容を選択し実施するもの。(学級・学年懇談会等を活用し、教職員が実施)

⑨ 単PTA講演会・地域連携フォーラム
 <学校教育課> ネットの危険性やトラブルの防止策についての講演会を行うもの。

⑧ 中学校入学説明会
 <学校教育課> 小学6年生の児童とその保護者に対してネットの危険性やトラブル防止策について講話を行うもの。

⑦ 親も育つ子育てセミナー(児童・思春期コース)
 <中央公民館> 「知っておきたい!子どもとインターネット~子どもを取り巻くネット・スマホ利用の現状~」(講師:一般財団法人インターネット協会認定インターネット利用アドバイザー・大久保真紀さん)

★⑥ 保護者向けの啓発
 <学校教育課> 文部科学省情報モラル教育推進事業の指導の手引を活用した、保護者向けの啓発を自校の実態に応じて内容を選択し実施するもの。(学級・学年懇談会等を活用し、教職員が実施)

⑤ 単PTA講演会・地域連携フォーラム
 <学校教育課> ネットの危険性やトラブルの防止策についての講演会を行うもの。

④ 就学時家庭教育講座
 (指導主事他)
 <子ども家庭課> 「就学時家庭教育講座」パンフを配布する。年長児の保護者を対象として、家庭教育の基本的事項を伝えるもの。その際に、SNSルールを説明するもの。

★③ 入園時保護者説明会(各園の職員)
 <保育課> 保育課で作成したパンフレットを配布及び保護者会等で説明をする。園児の年代に応じた家庭等での基本的事項を認識してもらうもの。

② ままのまカフェの健康教育(保健師・助産師)
 <子ども家庭課> 紙芝居「上手につきあおうメディア」を使つての講話を行う。心が育まれる乳幼児期には、パパやママ等、身近な人が話しかけ触れあうことがとても大切なこと、メディアに子守をさせないことを伝えるもの。

① こんにちは赤ちゃん訪問時(保健師・助産師)
 <子ども家庭課> 「上手につきあおうメディア~授乳中の心得~」パンフを配布する。授乳中はスマホ等の操作はやめて、赤ちゃんとのふれあいを大切にしたいこと、家族が子どものお手本になるようにすることを伝えるもの。

「市P連ルール(中学校版)」の設定と提示

「市P連ルール(小学校版)」の設定と提示